

7月 園だより

2024.7

下田部保育園

暑い夏がやってきました。保育園では子どもたちと一緒に夏の楽しいイベントを計画しています。さあ、夏の始まりと一緒に盛り上げていきましょう!まずは、夏祭りが控えています。保育園ならではの祭り雰囲気味わえるように準備を進めています。子どもたちが作った飾りや練習した盆踊りなど、見どころがたくさんあります。ぜひ楽しみにしてください。今年は地域の未就学児も参加できます。通園していないお友だちにもぜひお声がけください。

そして、夏イベントとして水遊びも始まります。子どもたちにとって多くの学びがある遊びの一つです。顔を水につけることに挑戦する子や、水の中で浮いたり走ったりと一人ひとり楽しむ表現方法をたくさん見つけてくれるでしょう。子どもたちの安全を第一に考え、夏を満喫していきます。

保護者の方々へお願いがあります。今年も厳しい暑さが予想されます。子どもたちの水分補給、日焼け対策、虫刺され対策には十分気を付けお過ごしください。



<乳児組>

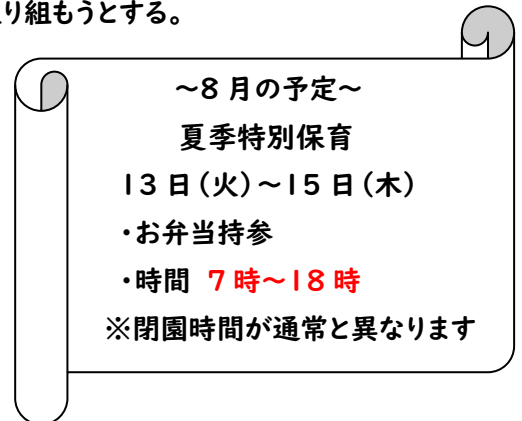
- ・水の気持ちよさや感触を楽しみ、夏ならではの遊びを満喫する。
- ・衣服の着脱や沐浴等を通して、気持ちよく過ごす心地よさを感じる。

<幼児組>

- ・様々に変化する水の特徴を知り、水あそびでしかできない時間を満喫して楽しむ。
- ・夏の生活の仕方がわかり、意欲的に生活や遊びに取り組もうとする。



- 1日(月)短冊・笹・笹飾り持ち帰り(七夕)
- 4日(木)七夕の集い
- 6日(土)~7日(日)お泊り保育(ゆり組)
- 13日(土)納涼夏祭り
- 18日(木)愛情弁当日・プール開き
- 25日(木)誕生会



☆夏季特別保育の期間は、「仕事」の方のみの申し込みとなります。7月中旬にルクミーにて利用有無についてお聞きしますので回答をお願いします。職員もこの間にお休みをとり、子ども達の出席にあわせて職員配置を致しますので、宜しくお願い致します。

★6月のSDGsの取り組み★

SDGs



乳児組のこどもたちがみんなで育てていた、スイカ、トマト、キュウリが実をつけました。子どもたちも発見すると大喜びで保育士に報告してくれています。



ほけんがよりの



ジメジメとした梅雨がが続いています。梅雨の時期は体調を崩しやすい季節でもあります。気温や湿度に注意し、十分な睡眠、バランスのとれた食事、こまめな水分補給など、1 つずつでもいいので生活を整えていきましょう。6 月は胃腸炎症状でお休みされるお子さんが多かったです。夏に多い感染症は咽頭結膜熱(プール熱)、ヘルパンギーナ、手足口病、食中毒です。5 月に乳児クラスで手足口病が流行しましたが何回もかかることがあるので注意が必要です。手洗いうがいを行い、タオルの共用は避けましょう。

熱中症 が起こるのは炎天下 だけじゃない!

●お風呂

熱中症のなりやすさは温度だけでなく湿度も関係しています。浴室や洗面所は湿気がこもりやすく長時間過ごすときは注意が必要です。

●プール

一見涼しそうなプールでも、水温が高いと熱中症のリスクがあります。また、汗が水に流れてしまうので自分がどれだけ水分を失っているのか気づきにくいです。

●睡眠中

眠っている間も寝汗などで予想以上に水分を失います。

身体が一度に吸収できる水分は 200ml ほどで、それ以上は身体が吸収しきれずおしっことして外に出てしまいます。

「〇時に飲む」など時間を決めてこまめに飲みましょう。ただし、緑茶は利尿作用があり、飲みすぎると知らないうちに脱水症状を引き起こしていることがあるので水か麦茶がおすすめです。ポカリなど糖分を多く含む飲み物を飲みすぎると血糖値が急上昇し、余計にのどが乾いてしまうこともあります。(ペットボトル症候群)

とびひに注意しましょう!

とびひはあせもや虫刺され、湿疹などを掻いたり、転んでできた傷に二次感染を起こしてとびひになります。また、鼻の入り口には様々な細菌がいるので鼻を触る癖があると鼻の周囲からとびひが始まったり、その手であせもや虫刺されなどをひっかくととびひになってしまいます。保育園では虫刺されに関してはムヒベビーを塗布したり、かゆみが続く場合は冷やしています。浸出液がでると絆創膏を貼っています。ひどくなる場合は皮膚科受診をお勧めすることもあります。

覚えておこう

水分補給のコツ



がぶ飲みではなく少しずつこまめに



のどが渴く前に



塩分やミネラル、糖分と一緒に



朝起きたとき、お風呂の後は
コップ一杯分プラス



身体測定週間

7/8(月)~12(金)

